



グローバル人権方針

ブリヂストングループ（以下「ブリヂストン」または「当社」）は、真のグローバルリーダーとしてあらゆる面で真摯に行動し、世界各地域で展開している当社の事業活動において、人権を尊重し適正な労働環境の整備を推進しています。当社は、これが正しい行動であるだけでなく、「2050年サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を提供する会社へ」という当社ビジョンを実現する上で重要であると考えます。また、本方針は、当社が掲げる「[Bridgestone E8 Commitment](#)」、特にすべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする「Empowerment」の基盤となります。当社は、当社の事業活動、商品、サービスが及ぼす影響を受ける人々、及びその可能性がある人々を含むステークホルダーの皆様と連携して負の影響に対処し、これを改善していきます。

ブリヂストンは、当社従業員、お客様、お取引先様、ビジネスパートナー及び当社が事業を展開する地域の人々とのかわりにおいて、人権に関する諸原則を遵守することに努めます。また、この取り組みを確実に推進するため、人権デューディリジェンスを定期的実施し、そのプロセス全体を通して社内外の専門知識を活かしながら、当社のグローバルな事業活動の全てにおいて実際のまたは潜在的な人権への影響を特定し、未然に防ぎ、軽減し、これらの影響にどのように対処するかについて説明責任を果たします。当社はデューディリジェンスの一環として、影響を受けるステークホルダーの皆様とのエンゲージメントも進め、当社の事業に関わる一人ひとり、従業員、地域社会に対して当社の事業活動が原因及び一因となってもたらされる負の影響を改善していきます。また、本方針を、当社の関連する事業方針や業務手順、お取引先様とのエンゲージメントにも組み込んでいきます。

ブリヂストンは、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」及び「国際人権章典」と国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」が定める人権を尊重し、支持します。当社は、事業活動を行う国の法令を遵守すると同時に、上記の国際規範に基づき、人権に係る取り組みを推進しています。各国の法令が、より強力な人権保護を規定する国際規範と相反する場合、当社は各国法令の範囲内において、可能な限り、より高い基準を定める国際規範の諸原則を尊重します。

本方針は、当社の全ての従業員と事業拠点に適用されます。当社は、サプライヤー、協力会社、販売会社、お客様を含む、当社と共に事業を行うパートナーの皆様にも、本方針に示される諸原則を支持いただきたいと考えています。お取引先様へのこうした期待は、当社の「行動規範」及び「グローバルサステナブル調達ポリシー」とも共通するものです。



ダイバーシティ、エクイティ 及びインクルージョン (DE&I) の尊重

ブリヂストンは、全ての人が自らの希望に応じその能力を最大限発揮して働く権利を有すると考えており、全ての人に公平な機会を提供することを約束します。また、多様な背景や経験、スキル、考え方を持つ人々が集まり、一つのチームとして働くことで、当社事業がより価値あるものになると考えます。当社は多様性を重んじ、チームワークと敬意が基盤となった、互いを尊重しあう職場環境の実現を目指しており、全ての従業員の協力を期待しています。また、それによって労働市場の中から優れた人財を惹きつけ、育成し、雇用し続けることが可能となり、当社にとっても持続可能な成長に繋がると確信しています。

差別とハラスメントの禁止

ブリヂストンは、全ての人が公正な扱いを受け、平等な機会を得る権利を有するという基本的な原則を支持しています。当社は、人種、民族、肌の色、国籍、性別、性的指向、性自認・性表現、年齢、言語、宗教、信条、社会的立場、家族構成、障害の有無、その他のいかなる立場を理由とするどのような形の差別、ハラスメントも容認しません。また、差別、ハラスメント及び、敬意を欠く、または個人の尊厳を傷つけるいかなる行為も禁止します。当社は、脆弱な立場におかれる人々の権利を守り、雇用機会の拡大を推進します。

職場の安全・衛生の推進

ブリヂストンは、「安全はすべてに優先する」という言葉を安全宣言のミッションとして掲げています。全ての従業員にとって安全な職場をつくることは、当社が事業において最も大切にしている価値の一つであり、従業員一人ひとりがその責任を負っています。当社の労働安全・衛生に関する取り組みの詳細は、以下をご覧ください。

[職場の安全衛生・従業員の健康管理の充実](#)



適正な労働環境整備の推進

ブリヂストンは、グローバルリーダーとして、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」が掲げる中核的労働基準の8条約に示される労働における基本的権利を尊重し、支持します。当社が事業活動を行う世界のどのような場所でも、容認できない労働慣行を排除すべきだと考えています。当社は、グループ全社及びサプライチェーン全体において、児童労働、強制労働、人身売買、現代奴隷を禁止します。また、法令を遵守するのみならず、適正な労働時間、清潔で安全な労働環境、公正かつ市場原理に基づいた賃金や福利厚生を享受できる質の高い労働機会を地域社会に提供することに努めます。

結社の自由及び団体交渉の保障

ブリヂストンは、全ての人が不利益を被ることなく、実名あるいは匿名で、誠実に問題提起を行い、自らの意見を表明する権利を有すると考えます。そのためにも、団体交渉を行うこと、労働組合を含む第三者機関を代表者にすること、あるいはそれらを行わないことに関して、全ての従業員が一切の強制を受けることなく自ら選択する権利を尊重します。また、第三者を従業員の代表として選出するなどの重要な決定を行う際は、従業員に対して十分かつ正確な情報を提供すべきであると考えます。当社は、事業活動を行う全ての拠点において、オープンかつ従業員が参画できる企業文化の醸成にいかなる時も努めます。

2022年5月13日

取締役

代表執行役 Global CEO

石橋秀一

石橋秀一